

日刊建設産業新聞

発行所
日刊建設産業新聞社

本社
〒173-8710 東京都板橋区板橋1-48-9
電話 03(3961)1691(代表)
ファクス 03(3961)2251
(http://www.kensan-news.com/)

支社
大阪、神奈川、九州、中国、東北、甲信越
支局
埼玉、中部

© 日刊建設産業新聞社 2015

「クイックデッキ」が威力発揮

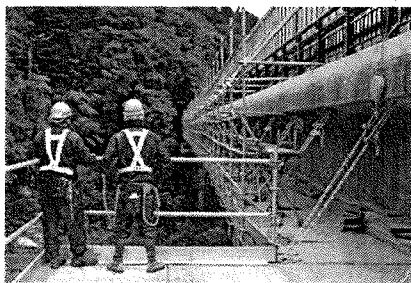
—日綜産業が現場見学会—

仙台市 八木山橋橋梁耐震補強及び補修工事

いた。施工性と安全、機能面に優れているほか、建設技能者不足にも対応できる省力化工法として評価され、宮城県では4例目となる。

日綜産業は16日、昨年6月に発表した先行床施工式フロア型システム吊足場「クイックデッキ」を導入する仙台市発注の仙台城跡線八木山橋橋梁耐震補強及び補修工事現場で、見学会を開

「クイックデッキ」はアメリカのセーフウェイ社のオリジナル製品で、同社が昨年6月にライセンス契約し、日本仕様の一部改良、手すり、支柱、孫梁、床板、幅木など日綜独自の技術を組み込み、日綜モデルとして販売・レンタルを開始。東北での需要も多く、納入稼働実績は6件を超過している。



クイックデッキを組んだ八木山橋

八木山橋は橋長117.7m、幅員9.3m。工事内容は下部工が炭素繊維巻き立てN112基、補修一式。上部工が鋼板接着補強N1186平方m、橋面舗装・防水工A11989平方m、区画線工L11350m、施工はYAK(小野寺勇社長)が担当。小野寺社長によると「日綜産業のクイックデッキは、熟練でなくても組立可能で施工性に優れ、施工効率のアップが期待でき、組立ながら作業場所を確保できる」と採用理由を語った。

現場の進捗率は70%程度。延べ6000時間、無事故・無災害を継続している。

建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03)3259-8711
FAX(03)3259-8730
©日刊建設通信新聞社 2015

仙台市八木山橋補強で活躍

仙台市発注の八木山橋橋梁耐震補強および補修工事(施工YAP、及川雅雄現場代理人)に、日綜産業のシステム吊り足場「クイックデッキ」が採用され、高所作業における安全・安心の確保と施工性の良さが現場関係者から好評を博している。

同市のシンボル青葉城と八木山を結ぶ名所・竜の口溪谷にかかる八木山橋(長さ117m)は、1965年の供用開始から半世紀が過ぎ、老朽化が進んでいる。ことし3月からYAPの施工で、橋脚のコンクリート巻き立てや鋼板接着補強などを実施。世界標準の安全性と効率性を誇る日綜産業のクイックデッキを採用

日綜産業「クイックデッキ」

画期的システムを実感

用することで、高さ70mの断崖絶壁という施工条件を克服しながら工事を進めている。

YAPの小野寺勇社長は、「施工条件が悪く工事着手前にさまざまな足場会社から断れた現場だが、日綜産業のクイックデッキのおかげで安全に工事を進めている。長年橋梁工事に携わる自分から見ても画期的なシステムだ」と強調。及川現場代理人は、誰でも素早く組み立てられるクイックデッキの効率性を評価しつつ、「広い作業スペースを確保できたことで、作業員の安全・安心につながり、高所作業時のストレスも軽減されている」と、その効果を実感している。

建設新聞



発行所
建設新聞社

〒980-0821 仙台市青葉区春日町7-5
市外局番(022)221-下記番号
総務部 4601
FAX221-4633
編集部 4602
FAX217-4170
編集事業部 4603
FAX221-4637
営業部 4604
FAX268-6416
編集事業部情報室 4606
FAX221-4637

©建設新聞 2015

熟練工不要で安全な吊り足場

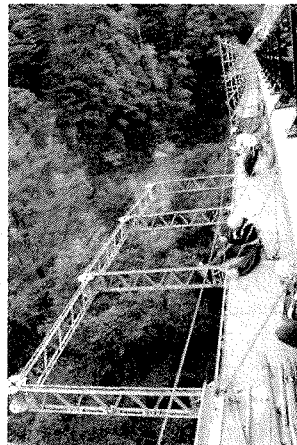
クイックデッキが仙台初採用

日綜産業

日綜産業(小野大社長)が販売する「クイックデッキ」が仙台市の橋梁工事で初めて採用された。熟練工不要で施工でき、安全性も高い先行床施工式フロア型システム吊り足場で、2014年6月に発売して以来、採用された現場は60件以上。宮城県では4件目。クイックデッキは軽量ながらもトラス構造で高い強度を誇るジョイント(主梁)と、従来の10倍以上の強度を有する高強度チエーンを組み合わせ、最大積載荷重1平方メートルあたり350kgを実現したNETIS登録済みの吊り足場。基本構成部材を全てシステム化し、専用工具を必要とせず、熟練工不要で簡単に施工できるのが特徴だ。このほか

▽床を先行させて施工可能
▽吊り点から最大5メートルの跳ね出しが可能
▽たわみや段差が少ないなどの特徴もあり、従来の吊り足場と比較し安全性も飛躍的に改善できる。
今回、クイックデッキが採用された工事は、仙台城跡と太白区の八木山団地を結ぶ青葉区川内地内に架か

跳ね出し施工デモの様子



る橋長117メートル、幅員9.3メートルの八木山橋の耐震補強と補修を行うもの。工期は16年3月31日までで、取材当日の進捗率は約70%。施工はYAP(仙台市)が担当している。

監理技術者を務めるYAPの村山敦洋工事部部长補佐は「従来の単管足場を使用する方法だと1カ月ほどかかる仮設工事が(クイックデッキを使うと)約半分程度で済んだ。また、床が先行するので危険作業が大幅に減り、安心して作業できる」と感想を述べた。

仙台市

八木山橋耐震補強

クイックデッキ採用

日綜産業は9月16日、宮城県仙台市の八木山橋で、新型吊足場クイックデッキ(NETISS-T H-150007-A)の現場見学会を開催した。

八木山橋は市道仙台城跡線の仙台市青葉区川内

地内、青葉山と八木山の間に広瀬川の支流が形成した名所「竜ノ口溪谷」に架かる橋長117m、幅員8.3mの3径間中央ヒンジPC箱桁橋。青葉城址にも近い。

脚を補強するなど、施工面、安全面でも難工事となっており、入札不調が続いていた案件。

今回、クイックデッキは同橋の耐震補強・補修は桁下にコンクリートア

工事の吊足場に採用された。耐震補強のメニューは、当初鋼板接着とコンクリート巻き立てによるクイックデッキは半分は、炭素繊維二層による補強に変更した。そのほかに橋面舗装、防水工、伸縮装置交換、など。

施工はYAP。吊足場の強み」と及川雅雄現場代理人は話す。



見学会のためにデモで短時間で仮設した吊足場

—わが国唯一の橋の専門紙—

橋梁新聞

発行所
橋梁新聞社

郵便振替口座 00150-2-48179
東京都台東区入谷1-6-6
〒110-0013 電話03(3876)1451
FAX03(3876)1458

第1257号

2015年 10月1日

(平成27年) 木曜日

昭和51年5月19日第三種郵便物認可
購読料/年間88,000円・半年46,000円(税別)

発行日 1・11・21日

発行兼編集人 澤田繁男
編集長 根津寿子

www.kyoryoshimbun.co.jp